

# グリーン いしかわ



Green Ishikawa No.131

f 全農いしかわ公式  
Facebookページ

全農いしかわの公式Facebookページ  
「石川うまれがだいすきさ」

県産農畜産物やJA加工品、イベント  
情報などを掲載中！ぜひご覧ください！

URL: [www.facebook.com/ishikawaumare.daisukisa](http://www.facebook.com/ishikawaumare.daisukisa)



## Green Ishikawa Contents

### ▶News&Topics

- J A全農 3か年計画（平成31～33年度）  
ならびに平成31年度事業計画のあらまし
- 石川県本部 平成31年度事業計画
- 「ひやくまん穀」生産者大会
- 「エアーフローラ」県外市場でのPR
- のどてまり
- 自動車ビッグフェア開催
- 「いしかわ百万石マルシェ2019冬」で県産甘藷をPR
- J A店舗・購買窓口 POP作成研修会
- 毎月2日はおにぎりの日
- AガイヤにおけるJ A加工品等販促イベント

### ▶お知らせほか

- Beishinおこめキッチン
- J Aホーム
- J A-OIL・タイヤスプリングキャンペーン2019

# ならびに平成31年度事業計画のあらまし

全力結集で挑戦し、  
未来を創る

## 3か年計画（平成31～33年度）事業計画の基本的な考え方

今次3か年計画では、自己改革の取り組みを加速するとともに、「本会のめざす方向」の具現化に向けた事業を展開します。

### 自己改革の加速化

- 米・青果物の直接販売・買取販売の拡大に向けた実需者への直接商談、直販関連施設の整備、出資・業務提携等
- 資材の共同購入や集約対象品目の拡大、広域物流体制の整備、購買・供給体制のスリム化
- 輸出拡大に向けた産地から海外までのサプライチェーン構築

### 生産基盤の確立

- 農業労働力不足への対応および担い手確保・育成への支援等
- ドローン・農業ICTなど革新的技術の導入・普及
- 加工・業務用の米・青果物の契約栽培拡大
- 販売起点の生産提案と資材・サービスの提供
- 品目を見定めた輸入農畜産物の国産への切り替えに向けた生産振興

### 食のトップブランドとしての地位の確立

- 消費者・実需者から選ばれる商品開発による食品製造・加工・外食のマーケットシェア拡大
- 生産から消費までのバリューチェーンの構築に向けた様々な企業との技術連携・業務提携
- eコマース事業、インバウンド需要対応、中食・外食への展開などによる販売チャネルの多様化・拡大

### 豊かな地域社会づくりへの支援

- 農産物直売所・生活店舗など拠点機能の再編強化等、中山間地域のライフライン対策
- 直売所を併設した大型Aコープ店舗（JAファーマーズ）の出店拡大や、農泊事業等による地域活性化
- 電力・ホームエネルギー事業の展開などによる地域ライフラインの支援

### 海外戦略の構築

- 既存輸出国での販売拡大、輸出用産地の拡大などを通じた輸出競争力の強化
- 他国の農協組織や海外サプライヤー等との関係強化や海外拠点の整備による原料・資材の調達力強化

### JAへの支援強化

- JAの経営基盤強化に向けた、農家対応力・販売力の強化、物流合理化、拠点型事業の一体運営・受託、産地づくり等の支援
- 農業者の所得増大・農業生産の拡大に寄与するJA・本会の自己改革の現場での実践

※金額は31年度取扱計画、カッコ内は前年計画比

### 生活関連事業 8,672億円(105%)

1. 直売所を併設した大型Aコープ店舗の出店拡大や商品開発などによる国産農畜産物の販売力強化
2. 地域・組合員ニーズに対応したライフライン対応メニューの拡充と買い物支援・高齢者対応の強化
3. 揮発油シェアの維持・拡大やネットワークセルフSSの運営力強化、および営農用エネルギーの取組強化
4. ガスキャッチ普及拡大によるLPガスの保安の高度化
5. 組合員向け電力事業の拡大やホームエネルギー事業の展開

### 営農・生産資材事業 8,077億円(100%)

1. 肥料・段ボールなどの銘柄・規格集約や共同購入トラクター、農薬担い手直送規格の取組拡大、広域物流体制の構築
2. 海外山元との関係強化・資本提携による肥料原料の安定確保
3. モデルJAの成果の水平展開によるトータル生産コスト低減
4. 大規模営農モデルの確立・普及、新品種や栽培技術、加工・貯蔵技術の開発、および農業施設総合コンサルの取組強化
5. 農作業受託の仕組みづくりやICT技術の活用・普及促進
6. TAC活動のレベルアップやGAP推進による担い手対応強化

### 営業開発・フードマーケット事業・輸出対策

1. 全農グループ販売会社との共同営業による新規取引品目の拡大、グループ一体的な商品開発、および加工・物流拠点の整備やコールドチェーンの確立などのインフラ開発
2. JAタウンの取扱拡大などeコマース事業の積極展開と飲食・中食店舗の拡大および本会グループ飲食店舗の運営改善支援
3. 既存輸出国での販売拡大や中国での販売体制強化、マーケットニーズをふまえた輸出用産地の拡大、リレー出荷の実践
4. 共同物流・配送による物流費の圧縮や、鮮度保持技術の確立



# J A 全農 3 か年計画(平成31～33年度)

## 事業環境の変化

### 農業生産の基盤縮小と構造転換

- 農業就業人口の減少、労働力不足の深刻化
- 耕作放棄地の増加、農地集積の加速
- 法人経営体・異業種からの農業参入の増加
- 新技術による労働生産性向上への期待

### 消費の動向

- 中食・外食市場の拡大
- コンビニエンスストア・ドラッグストアの伸長
- e コマース市場の拡大、インバウンド需要の増加
- 加工食品の原料原産地表示の義務化

### J A グループを取り巻く環境

- J A の広域合併・県1 J A 組成などの組織改革
- 経済事業の取扱高減少
- J A への監査法人監査の導入
- 信用・共済事業の収益力低下懸念

### 農政の動向・海外情勢

- T P P 11・日欧E P A・T A Gなど貿易自由化の進行
- 外国人労働者の受入拡大
- 米中の対立激化、中東情勢の不安定化

## 5年後、10年後を見据えた 本会のめざす方向

作物別・品目別戦略策定による  
農業総産出額の  
計画的・段階的な拡大

マーケットニーズをふまえた  
販売戦略の構築

元気な地域社会づくりへの  
支援

急変する海外動向に対応した  
新たな海外戦略の構築

会員還元の最大化

## 事業別実施具体策

### 米穀農産事業 7,203億円(96%)

1. 実需者との直接商談の強化・拡大、および実需者や米卸等との出資・業務提携の推進
2. 実需者ニーズをふまえた多収米等の作付提案・契約栽培の拡大や買取販売の拡大、および事前契約など安定取引の拡大
3. 事業競争力強化に向けたパールライス卸の再編整備や、食べ方提案などの情報発信を通じた米消費拡大
4. 国産麦の需要に応じた生産と数量・品質の安定化、および輸入大豆を使用した製品の国産大豆への切り替え

### 畜産事業 10,665億円(104%)

1. 包装肉事業拠点の全国網整備や中食・外食向け商品の製造・供給体制整備、および中食への参入など事業領域の拡大
2. 牛舎・施設賃貸事業などの畜産生産基盤の支援・補完、および革新的な商品・技術による労務軽減・生産性向上
3. 米国・ブラジル・カナダの関連会社による内陸集荷拠点の拡充や共同購買・共同物流の拡大を通じた飼料原料調達力強化
4. 需給バランスの調整による生乳の飲用向け数量の最大化や業務用牛乳の出荷体制の強化

### 園芸事業 12,059億円(102%)

1. パッケージ機能・冷蔵機能等を具備した直販関連施設の設置や県域を越えた広域営業によるリレー販売体制の強化
2. 農業労働力支援の強化や輸入量の多い野菜の国産への奪還に向けた生産振興、および果樹の生産対策
3. 大型広域集出荷施設のJ A との共同設置・共同運営
4. 共同産地づくりや販売強化に向けた中外食サプライヤー等との業務提携・出資
5. スtockポイントの整備やパレット輸送の拡大等、流通網の整備



# 石川県本部 平成31年度事業計画

## I. 重点施策

前3か年(平成28～30年度)においては、第37次JAグループ石川基本戦略と連動した5項目の重点施策に加え、29年度からは「農林水産業・地域の活力創造プラン」への対応として、生産資材のさらなるコスト低減と農産物の販売強化等の全農自己改革の取組みを織り込み、その目標達成に向け取り組んでまいりました。

今次3か年(平成31～33年度)においては、農業生産基盤の脆弱化、JAの組織基盤の弱体化、政府が推進する農協改革の節目対応等の諸課題や、消費・流通の多様化、国際情勢の変化等、国内外の情勢変化を踏まえたなかで、JAの経営基盤強化に向け、従来より踏み込んだJA支援を実行するとともに、本会とJAが一体となって、組合員・地域住民に評価される事業を確立していくため、以下の5項目を重点実施策として位置付け、スピード感をもって実践していきます。

### 【農業生産の拡大】

(米穀)

ア. 水田フル活用による主食用米・水田活用米穀および麦・大豆の需要に応じた計画生産を推進します。

イ. 行政と連携し、県産米・麦・大豆の収量・品質向上の取り組みを強化します。

(園芸)

ウ. JAグループ石川営農戦略室と連携した園芸品目の「新産地づくり」、「既存産地の拡大」の推進、および生産振興モデル実証圃による経営

モデル普及に取り組めます。

(畜産)

エ. 行政と連携して能登牛・養豚農家の規模拡大、担い手育成支援を実施します。

オ. 能登牛肥育実験農場での増頭に取り組むとともに、担い手育成のための実地研修の受け入れを行います。

カ. 能登牛の肥育実験農場、実証展示事業のGAP基準での運営改善に取り組めます。

### 【販売力の強化と県内産農畜産物の消費拡大】

(米穀)

ア. 実需者推進を強化し、実需者とJAを結び付けた事前契約を拡大するとともに、県産米の売場拡大に向け、販促キャンペーン等を継続的に展開します。

イ. 大規模生産者への集荷推進を強化するとともに、米心石川との協調集荷・販売を継続し、共販率の向上と販売先への安定供給に努めます。

ウ. 「ひやくまん穀」のブランド化推進と、契約栽培による生産拡大に取り組めます。

(園芸)

エ. 県産青果物の安定売場確保・拡大のため、直販や契約的取引の拡大に努めます。

オ. 宣伝対策の強化により、石川オリジナル品目のブランド確立に取り組めます。

(畜産)

カ. 能登牛・能登豚のブランド化を推進し、有利販売をはかるとともに、付加価値加工品の取扱いを拡大します。

キ. 食肉センター・精肉パックセンターでHACCPに準拠した衛生管理を実践します。

(米穀・園芸・畜産)

ク. 直営飲食店やグループ店舗を活用した県産農畜産物やJA加工品の継続的PRと、効果的な宣伝対策の実施により県産農畜産物の消費拡大をはかります。

### 【トータルコストの低減】

(営農・肥料・農薬)

ア. 農家手取最大化モデルJAで実践したトータルコスト低減技術や、大規模営農モデルで実証した技術の水平展開に取り組めます。

イ. 農業ICTを活用した農業生産管理システムや省力化・増収技術等の水平展開に取り組めます。

ウ. 2年3作体系による水田フル活用を推進します。

エ. GAPの普及・推進に取り組めます。

オ. 省力化技術・資材、コスト低減資材の普及拡大をはかります。

カ. 肥料、水稻除草剤・箱施薬剤の結集銘柄を設

定しコストの低減に取り組めます。

キ. メーカー工場から担い手生産者に直送する大型規格農薬の拡大に取り組めます。

(農機)

ク. 省力化、効率化に繋がるICT対応農機等の導入促進に取り組めます。

ケ. 低価格モデル農機の提案と普及推進に取り組めます。

コ. 中古農機の取扱拡大に取り組めます。

(燃料、自動車)

サ. 営農用車両・燃料油の価格対策の実施と、軽油免税制度の普及推進をはかります。





## 【JA事業への支援拡充】

(営農)

ア. JAと連携し農業生産法人等への出資や労働力確保等支援の仕組・態勢の構築をはかります。

(肥料農薬)

イ. JA配送コスト削減に向け、農家戸配送の拡大と配送体制の整備に取組みます。

(JAグリーン)

ウ. JA店舗の売場改善、産直品やJA加工品の販売拡大、安全・安心対策強化に向けた支援に取組みます。

(農機)

エ. JA農機事業の基盤強化に向け、JAと全農の一体化運営を検討・提案します。

(燃料)

オ. JA灯油配送業務の軽減に向け、配送受託によるコスト低減支援策を提案します。

カ. SS過疎地域におけるライフラインとしての拠点SS維持対策を実施します。

キ. JAガス事業の保安高度化に向け、安全化システムの普及促進およびJAの保安体制強化に取組みます。

(自動車)

ク. JA自動車整備に係る要員不足等の課題に対応すべく、本会整備工場による支援体制を整備します。

## 【事業シェアの拡大】

(肥料・農薬)

ア. TACと連携した担い手生産者への利用推進を強化するとともに、JAとの協議に基づく担い手生産者対策を実施します。

イ. 結集銘柄等への集約と優位性ある価格により、系統品目の普及拡大に取組みます。

(農機)

ウ. 農業機械の購買対策を強化するとともに、TACと連携した未利用担い手生産者への利用推進と切替対策に取組みます。

(燃料)

エ. SSセルフ化推進、有力商圏における新規出店および運営力強化に取組みます。

オ. ハートキャッチ活動や燃料転換の推進、大口需要家の獲得推進を強化します。

(自動車)

カ. 重点銘柄車の拡販対策やシニアおよび次世代組合員に対応したキャンペーン展開に取組みます。

キ. 売れ筋車両の品揃え拡充により中古車販売を強化します。

# Ⅱ. 事業別実施具体策ならびに行動計画

## 米穀事業

### 水田フル活用による生産振興とJAグループによる一元集荷・一元販売の推進

#### 【水田フル活用による生産振興】

- ①主食用米の計画生産の推進
- ②水田活用米穀の需要確保と一体的取組みの継続
- ③麦・大豆の作付拡大および単収向上

#### 【安定価格・安定供給のための一元集荷】

- ④大規模生産者に対する集荷推進の強化およびフレコン集荷の拡大
- ⑤本会の連合農業倉庫を活用したフレコンおよびルート集荷の拡大と、共同計算流通経費の削減

#### 【販売力の強化と消費拡大】

- ⑥米心石川との協調集荷・販売、JAと実需者の結び付き販売の拡大等による共販率の向上
- ⑦JA・実需者を含めた事前契約の拡大
- ⑧県産米の販促キャンペーンや「おにぎりの日」等の消費拡大イベントの継続実施
- ⑨品質・食味向上対策の強化等による県産米のブランド力向上
- ⑩「ひやくまん穀」の生産拡大と効果的販売対策の実施
- ⑪輸出入の新市場開拓と多収性品種の拡大

## 園芸事業

### 園芸作物の生産拡大および販売力の強化

#### 【園芸作物の生産拡大】

- ①JAグループ石川営農戦略室と連携した「新産地づくり」と「既存産地の拡大」推進
- ②JA域を跨ぐ効率的な集出荷体制の整備に向けた検討
- ③本会圃場での園芸経営モデルの普及
- ④生産拡大と連動した園芸種苗センターにおける優良種苗の安定生産

#### 【販売力の強化と消費拡大】

- ⑤直接販売および重点市場と連携した実需者との契約的取引の拡大
- ⑥県産青果物フェア等の消費拡大・宣伝対策の強化
- ⑦石川県オリジナル品目(ルビーロマン、加賀しずく、エアーフローラ、のとてまり)のブランド化推進

#### 【生産コストの低減】

- ⑧材質・形状の見直しや規格集約による段ボール資材のコスト低減





## 畜産事業

### 畜産生産基盤の維持・拡大に向けた取組みと食肉販売事業の強化

#### 【畜産生産基盤の維持・拡大】

- ①能登牛・肉豚の担い手生産者に対する生産拡大および生産性向上の支援強化
- ②能登牛の肥育実験農場・実証展示事業のGAP基準での運営改善
- ③能登牛肥育実験農場での増頭、および実地研修受け入れ等による新規就農者育成支援
- ④能登牛認定店の拡大等による有利販売先の確保

#### 【販売力の強化と消費拡大】

- ⑤食肉の提案型営業による新規顧客獲得と既存取引先への拡販
- ⑥能登牛、αのめぐみ等の県産ブランド肉の取扱拡大
- ⑦県産・国産食肉消費拡大対策の取組み強化
- ⑧冷蔵・冷凍ケース無償貸与によるJA直売店舗での取扱拡大
- ⑨食肉センター、精肉パックセンターのHACCPに準拠した衛生管理の実践
- ⑩広域販売も視野に入れた新たな包装肉拠点の整備検討

## 営農対策

### JAグループ石川営農戦略室やJAと連携した担い手生産者対応および生産拡大とトータル生産コスト低減への取組み強化

#### 【農業生産の拡大】

- ①「うまい・きれいな石川米づくり運動～石川米ブランドの確立～」を柱とした県産米の品質・収量向上運動の実践
- ②「ひやくまん穀」の収量確保に向けた技術の普及

#### 【トータルコストの低減】

- ③農家手取最大化モデルJAにおけるトータルコスト低減技術、および大規模営農モデルでの実証技術の水平展開
- ④Z-GIS等による農作業の見える化と、ドローン、

可変施肥田植機等のICT技術を活用した省力化・効率化の提案

- ⑤2年3作体系の取組農家・面積の拡大および大豆・大麦の増収技術普及
- ⑥GAPの普及・推進

#### 【JA事業への支援拡充】

- ⑦JAと連携した農業生産法人等への出資や労働力確保等支援の仕組・態勢の構築
- ⑧TAC推進体制の強化支援、およびJA未利用担い手生産者への推進支援

## 肥料・農薬事業

### 生産資材トータルコストの低減推進と農家戸配送体制の整備によるJA支援の強化ならびに事業シェアの拡大

#### 【トータルコストの低減】

- ①省力化技術・資材および担い手生産者のニーズに対応したコスト低減資材の普及拡大
- ②肥料、水稲除草剤・箱施薬剤の結集銘柄の設定
- ③メーカー工場から担い手生産者に直送する大型規格農薬の拡大

#### 【事業シェアの拡大】

- ④TACと連携した担い手生産者推進の強化とJAとの協議に基づく対策の実施

- ⑤結集銘柄等への集約と優位性ある価格設定による系統品目の普及拡大

#### 【JA事業への支援拡充】

- ⑥JAの配送コスト削減に向けた農家戸配送の拡大と配送体制の整備
- ⑦JA資材店舗の売場改善、産直品・JA加工品の販売拡大、安全・安心対策の強化支援

## 農機事業

### 担い手生産者のコスト低減支援、購買対策の強化による取扱シェアの拡大およびJAグループ農機事業の運営体制の強化

#### 【トータルコストの低減】

- ①省力化、効率化に繋がるICT対応農機等の活用提案の強化
- ②中古農機の取扱拡大に向けた取組みの強化
- ③機能を絞った低価格モデル農機の普及推進

#### 【事業シェアの拡大】

- ④主要農機の早期予約拡大策の強化
- ⑤推奨型式の取扱拡充

- ⑥TACと連携した未利用担い手生産者への推進と切替対策の実施

#### 【JA事業への支援拡充】

- ⑦JA担当者の技術・知識及び意欲向上に向けた研修・コンテスト等の実施
- ⑧JA農機事業の運営基盤強化に向けたJAと全農の一体化運営の検討・提案
- ⑨本会主催を含む安全講習会の開催促進



## 建設事業

### J Aに対する計画的な施設投資の提案

- ① J A 共同利用施設に対するコンサル機能の発揮
- ② J A 域を超えた施設整備の検討・提案

## 燃料事業

### J A－S Sの運営力強化とJ Aガス事業の保安体制強化等による取扱シェアの拡大およびJ Aグループ燃料事業の基盤強化

#### 【事業シェアの拡大】

- ① J A－S Sのセルフ化推進と有力商圏における新規出店
- ② 柔軟な価格対策とチェーン会を軸としたイベント・キャンペーン等の実施
- ③ J Aと連携した未利用農家への営農用燃料推進の強化
- ④ 給湯器・ファンヒーターによる燃料転換推進の強化
- ⑤ 電気事業（J Aでんき）の取組み開始

#### 【J A事業への支援拡充】

- ⑥ S S過疎地域における拠点S S維持対策の実施
- ⑦ J A域を超えた灯油の配送受託による輸送コストの低減
- ⑧ ガス安全化システムの普及促進と保安指導強化による法令遵守徹底
- ⑨ 事業受託や譲受等、運営体制の整備によるJ A経営基盤の強化

#### 【トータルコストの低減】

- ⑩ 営農用燃料油の価格対策の実施と軽油免税制度の普及推進

## 自動車事業

### ターゲットを明確にした拡販対策の実施による取扱シェアの拡大およびJ A自動車事業の運営体制の整備

#### 【事業シェアの拡大】

- ① 重点販社銘柄と中古車、およびシニアや次世代組合員向けの拡販対策の実施
- ② 売れ筋車両の品揃え拡充による中古車の販売拡大

#### 【J A事業への支援拡充】

- ③ 研修・コンテスト実施によるC S向上、業務改善、整備士のレベルアップ

- ④ メンテナンスパック等、顧客固定化・利用拡大対策のJ Aへの導入促進

- ⑤ 本会整備工場のJ A支援体制の整備

#### 【トータルコストの低減】

- ⑥ 営農用車両の価格対策の拡充

## 管理部門

### 全農グループ全体の事業運営力強化とコンプライアンス・リスク管理の徹底および県産農畜産物の消費拡大対策の継続実施

#### 【事業運営力の強化】

- ① 効果的な教育研修による職員のレベルアップ
- ② 計画進捗管理の徹底とダイジェスト版による全体共有化
- ③ 子会社・関連会社等の管理・支援の強化

#### 【コンプライアンス・リスク管理の徹底】

- ④ コンプライアンス・リスク管理意識の高位標準化に向けた継続的な研修の実施

- ⑤ 巡回による食品表示、労災等の重要リスクへの対応強化

- ⑥ 労務管理の徹底と業務改善等による労働時間の削減

#### 【広報・宣伝活動の充実】

- ⑦ 県産農畜産物の効果的宣伝対策の取組み充実
- ⑧ 子会社と連携したJ A加工品の販路拡大支援の強化
- ⑨ J Aならびに直営飲食店・子会社店舗と連携した情報発信の強化





## 米穀課

## 「ひやくまん穀」生産者大会

石川県の米新品種「ひやくまん穀」の生産者大会が2月18日(月)に金沢市の地場産業センターにて開催されました。生産者・JAグループ・県関係者合計約400名が参加し、30年産の栽培概要・品質分析結果、31年産での栽培対策や生産・販売方針等についての説明が行われました。大会の中では、「ひやくまん穀」コンテストの表彰式や基調講演としてパナソニック(株)ライスレディの加古氏より炊飯に関する講演、石川県農業試験場の永畠研究主幹より土づくりに関する講演がありました。

31年産では、県下の作付は1,200ha、出荷量は7,000トンを計画しており、出席者全員で「ひやくまん穀」の高品質・安定生産と評価向上を目指して一丸となって取り組んでいくことが確認されました。



「ひやくまん穀」についてはこちらをチェック!!

ひやくまん穀HP▶



## 園芸課

## 「エアリーフローラ」県外市場でのPR



東京での競り前挨拶の様子

2月1日(金)、東京都中央卸売市場内にて、2月15日(金)には大阪鶴見花き卸売市場内で、石川県のオリジナル品種のフリージア「エアリーフローラ」のPR販売を行いました。香りが良く、色鮮やかな全10色のエアリーフローラは、今年で8シーズン目を迎えます。当日は、エアリーフローラ振興会、県、JA担当者らが、早朝から市場・仲卸関係者へ向けて、元気にPRを行いました。

出荷の最盛期が3月と、卒業や入学など新たな旅立ちの時期と重なることから、キャッチフ

レーズは“旅立ちを祝う花”、そして、花言葉は“希望”です。

「エアリーフローラ」を多くの方に楽しんでいただけるよう、今後も県内外でのイベントやPR活動を行っています。



大阪Flower Galleryでの展示の様子▶





## 園芸課



## の と て ま り



## 穴水高校「のとてまり」初競り @金沢市中央卸売市場

11万円で競り落とされた  
「のとてまり」

県立穴水高校の生徒が栽培した「のとてまり」が、1月26日(土)金沢市中央卸売市場で競りにかけられ、1箱8玉入が11万円の過去最高値で競り落とされました。穴水高校では、「のとてまり委員」の生徒が主体となって奥能登原木しいたけの栽培に取り組んでおり、今年で7年目となります。

前日の25日(金)には生徒代表と担当の

先生が石川県本部を訪問し、今年の仕上がりや競りへの意気込み等を語っていただきました。そして迎えた競り当日には、早朝から生徒も市場に訪れ「のとてまり」のPRを行い、競り落とされた「のとてまり」は能登を基盤とするスーパーマーケットの「どんたく」さんにご購入いただきました。

「のとてまり」のPRを行う  
穴水高校生

石川県本部訪問

## のとてまり感謝祭 @近江町市場

毎年恒例となっている「のとてまり感謝祭」が、1月26日(土)近江町市場で行われました(主催:奥能登原木しいたけ活性化協議会)。

イベントでは、「のとてまり」や「のと115」、干しいたけなど加工品の販売や、きのご鍋の振る舞い、穴水高校の生徒による、「のと115」入りキッシュの販売等が行われました。気温も低かったため、多くの地元客や観光客の方が列を作り、きのご鍋で体を温めていました。



賑わう会場

## 自動車課

## 自動車ビッグフェア開催

1月12日(土)~13日(日)に、J Aオートこまつ・J Aオートかなざわ・J Aオートななおの3会場にて、「自動車ビッグフェア」を開催しました。

開催日前より、各J A担当者協力のもとチラシ・ポスターで一斉推進を実施し、フェア初日の朝刊でも告知PRを実施しました。

その結果、3会場とも大盛況となり、252名のお客様が来場し、111台の成約となりました。

また、来場された方には来場粗品(ひゃくまん穀300g)を、成約された方には成約記念品(シートマッサージャー)を贈呈し、お客様に喜んでいただきました。





## 開発 広報課

# 「いしかわ百万石マルシェ2019冬」で県産甘藷をPR

2月8日(金)、ウェスティンホテル東京(東京都港区)において、石川県食材のブランド化、首都圏での販路拡大を目的に、「いしかわ百万石マルシェ2019冬」が開催されました。本会からは県産甘藷を出展しました。



同ホテルのシェフが県産甘藷を調理し、試食を大勢のホテル・レストランのシェフやマスコミ関係、各種バイヤーに味わっていただき、沢山の来場者に魅力をPRすることが出来ました。

◀同ホテルの総料理長オリジナルメニュー「五郎島金時」の冷製ポターージュ



商談の様子

## 肥料 農薬課

# JA店舗・購買窓口 POP作成研修会

2月4日(月)、JA石川教育センターにおいて、POP活用による効果的な商品情報の提供を目的に、POP作成研修会を開催し、JA購買担当者6名が出席しました。

午前中はペンの持ち方やPOPの書き方について受講し、午後からは商品陳列の実習を行いました。商品のイメージカラー・価格を意識して陳列を行っていただき、講師からはさらに良く魅せるためのアドバイスをいただきました。

肥料農薬課では、3月13日(水)に県下JAグリーン店舗でPOPコンテストを開催いたします。

今後の店舗・購買窓口の活性化につながることを期待します。



MROラジオ公開放送に  
お邪魔しました



## 米穀課

# 毎月2日はおにぎりの日



2月2日(土)のおにぎりの日に、香林坊アトリオで行われていたMROラジオ「ラジパラw」の公開放送にて、「ひやくまん穀」のPRとおにぎりの配布を行いました。

会場は大変賑わっており、先着50名のおにぎり配布はあっという間に終了。老若男女、幅広い年齢層の方に「おにぎりの日」や「ひやくまん穀」について知っていただくことができました。

◀公開放送の様子

(写真左 : シンガーソングライター 鼻毛の森さん  
写真中央 : MROアナウンサー 竹村りょうさん  
写真右 : 米穀課 南部職員)



# AガイヤにおけるJA加工品等販促イベント

## JA白山

● 1月7日(月) ●

「抹茶入り玄米茶」と、「手作り無添加米糰五割味噌」を使った味噌汁の試食イベントを行いました。綺麗な緑色で香ばしい香りのお茶は大人気でした。また地元産の大豆を100%使用した味噌もたくさんの方に購入していただきました。



## JA金沢市

● 1月11日(金) ●

旬の「加賀れんこん」を、温かいミルクスープとあわせて試食していただきました。れんこんの美味しさや、しゃきとした歯ごたえが好評で、たくさんの方に購入していただきました。



## JA加賀

● 1月15日(火) ●

新商品の「味平パンプキンガレット」の試食イベントを行いました。特産の味平かぼちゃを練りこんだガレットは、ほんのりかぼちゃの甘みがあって美味しく、目を引くトリコロールカラーのパッケージはお土産はもちろん、ちょっとしたプレゼントにも適していると、大好評でした。



## 小松菜

● 1月18日(金) ●

河北潟産の「小松菜」で作った生産者特製のふりかけの試食イベントを行いました。小松菜の美味しさや魅力をたくさんの方に知っていただく機会になりました。



## JAはくい

● 1月25日(金) ●

JAはくいの新商品「まるごととはむぎ」の試飲と、はとむぎ化粧品類のおためしイベントを行いました。地元産のはとむぎの効能について興味を示すお客様も多く、大好評でした。





## JA根上

● 2月1日(金) ●

JA根上の「加賀丸いも珈琲（ドリップ珈琲）」の試飲と、加賀丸いもを使ったフィナンシェとマドレーヌの試食を行いました。珍しい珈琲とスイーツは、女性のお客様を中心にたいへん美味しいと喜ばれました。



## JA能美

● 2月12日(火) ●

JA能美の「加賀丸いも」と「加賀丸いもそば」の試食イベントを行いました。すりおろした「加賀丸いも」を丸いもそばの上にかけて試食していただきました。「加賀丸いも」はもっちりとして弾力があり、県内外問わず、たくさんの方に購入していただきました。



## エアリーフローラバレンタイン

● 2月14日(木) ●

バレンタインデーに、花言葉が「希望」である石川県オリジナルのフリージア「エアリーフローラ」のイベントを行いました。イベントは短冊に願いを書き、ハート型のモニュメントに飾りつけを行うものでした。参加者には「エアリーフローラ」を1本プレゼントし、非常に喜んでいただけました。モニュメントは縁結びで名高い石浦神社に奉納しました。



## JA石川かほく

● 2月22日(金) ●

JA石川かほくの「かほっくり」の焼き芋と干し芋の試食会を行いました。栗のような食感とほんのりとした甘さが特徴の「かほっくり」は、試食していただいたお客様からは美味しいとの声がたくさん聞かれました。



## Beishinおこめキッチン金沢駅あんと店 おにぎり紹介



### 悪魔的なおにぎり

(税込130円)

悪魔的な美味しさと評判のアノおにぎりを米心オリジナルアレンジで！

つゆで炊いたご飯にイカ天入りの天かす、青さ粉、えびを混ぜて風味豊かなおにぎりに仕上げました。

やみつきになること間違いなしの新商品をぜひお召し上がりください！



毎月8日、18日、28日  
8のつく日は  
おにぎり  
120円、160円の  
均一セール！

毎月2日は  
「おにぎりの日」  
季節のおにぎりを  
毎月2日から  
1ヶ月限定で販売中！



「つくる」と「たべる」のあいだに。――

株式会社 米心石川

## 春の家づくり イベント情報

### ■家づくりセミナー 毎月第4日曜日

注文住宅、建売住宅、リノベーションの仕様、コスト、流れの違いを比較検討し、あなたに最適な家づくりがわかるセミナー。住宅は住む期間、ローンと光熱費の総支出額で考えましょう。

### ■リノベ内見会 予約制随時対応

リノベーションに踏み切れないのは、新築とは違って良質な施工事例を見ることができないからだと思います。弊社社員が住むリノベした住まいを参考にしてみてください。

### ■新築現場見学会 6月まで不定期開催

人生の三大出費の一つとされる家づくりは、わからないことばかり。その答えは現場にある！スタンプラリー形式で、参加回数が多ければ多いほど特典がグレードアップ。

イベントのお問い合わせ、住まいのご相談はJAホームまで  
(株)JA建設エナジー  
TEL 076-240-5441 HP <http://www.jahome.jp/>



LINEはこちら





JA-SS

オイル

# JA-OIL・タイヤ スプリングキャンペーン2019

実施期間 平成31年3月1日(金)～4月30日(火)

対象タイヤを1セット(4本)  
購入されたお客様

「ひやくまん穀 5kg」

抽選で **50名様** にプレゼント!



JA-OILを交換・購入されたお客様



「ひやくまん穀 2kg」

抽選で **50名様** に  
プレゼント!



※当キャンペーンは景品法の規定範囲で行っています。

チラシにある応募用紙に、レシートを貼ってスタッフにお渡しください。

私たち全農グループは、  
**生産者と消費者を  
安心で結ぶ懸け橋**  
になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

発行所／全国農業協同組合連合会 石川県本部  
管理部 開発広報課

〒920-0383 金沢市古府1丁目220番地  
TEL (076) 240-5371 FAX (076) 240-5319  
<http://www.is.zennoh.or.jp>